

とちぎ Prefectural Newsletter of Tochigi

# 県民だより

10月号 2007

編集・発行 栃木県広報課 平成19年10月14日発行

目次 CONTENTS  
2面 とちぎ未来クラブ  
3面 県からのお知らせ  
4面 県政トピックス・知事コラム・文化情報 ほか

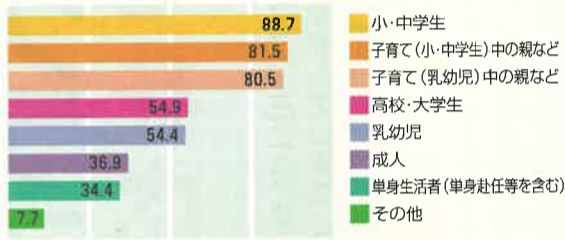
〒320-8501 宇都宮市鳩田1-1-20  
TEL 028-623-2192 FAX 028-623-2160  
栃木県のホームページ <http://www.pref.tochigi.jp/>



「自分でつくろう朝ごはん」をテーマに、みんな大人顔負けの腕前を披露しました。子どもの料理コンクール・2次審査会のような様子。

## 食育の対象として次のいずれが効果的と思うか

(複数回答)



(平成17年度「県政モニター第1回県政主要課題アンケート調査報告書」より)

「食育」とは、さまざまに経験を通じて食に関する正しい知識を身に付け、健康的な食生活を送ることが出来る人を育てること。状況の変化やライフスタイルの多様化により、不規則な食事や栄養バランスの偏りなど食に関するさまざまな問題が生じている近年、食育の取り組みが注目されています。

県が平成十七年度に行った県政モニターへのアンケートにおいても「食育を意識したことがある」と回答した方が七割以上となっており、また、多くの方が、子どもから大人まで、みんな

### 食は健やかな生活の基本

「食」は、健やかで心豊かな生活を送る基本となるもの。朝食を食べない、栄養のバランスが偏っているなどの食生活の乱れは、肥満や生活習慣病の原因の一つです。県では、心身の健康のために、食がいかに大切であるかを伝えるさまざまな取り組みを行っています。

# 「食育」から始まる とちぎの元気

## 食は全ての基本

とちぎ食育推進連絡会会長  
宇都宮大学教授 津谷 好人さんにお話を伺いました

「食育」とは、学力を養う「知育」、道徳を養う「徳育」、健康な体を養う「体育」の基礎となる大切なものです。また、食というのは、地域の文化や環境問題にまでつながっています。食について学ぶということは、自分の心や体についてだけでなく、人間が生きていくうえでのいろいろな問題を考えるきっかけになります。

宇都宮大学では、親子に参加していただき農作業体験を実施しています。最近では、定員を大幅に上回る申し込みがあり、食と農についての関心が非常に高まっていると感じます。また、参加された方へのアンケートを見ると、知識を得るだけでなく、実体験することがいかに大切かが分かりますね。

今の社会環境の中では、家庭だけでなく企業や教育機関、行政などが一緒になり、社会的な取り組みとしてみんなで食育について考える必要があると思います。また、そうした取り組みを個別のものとして終わらせないで、それぞれの分野をうまく連携させながらすすめていくことも大切ではないでしょうか。連絡会でも、関係機関が情報を共有できる体制をつくっていきたいと考えています。



食育の推進には、ボランティアや学校教育の場が大切な役割を果たしています。

県は、平成十八年度に「とちぎの食育元気プラン」を策定しました。このプランでは、家庭をはじめ地域、学校などで食育を推進するための基本的な取り組みを示しています。

### 地域・学校で 取り組む「食育」

食育に取り組むことが大切であると考えています。



子どもたちは、とちぎ食育応援団の方々と一緒に、楽しみながら農作業の体験を行っています。

「とちぎ食育応援団」は、学校や地域の中で、郷土料理の紹介や農業体験の受け入れなど食や農について活動しているボランティア団体

問合せ【県農政課】028-623-2287



宇都宮市立姿川第二小学校で行われた家族料理教室には福田知事も参加しました

体です。登録している個人や企業、団体がそれぞれの得意な分野で食育の推進に取り組んでいます。

また、地域における健康づくり活動を行っているボランティアに「食生活改善推進員」がいます。子どもの料理コンクールや親子、男性等を対象とした料理教室などを通して、食生活の改善による健康づくりの普及啓発活動をしています。

学校教育の場では、食育をすすめるために、栄養教諭制度を導入しています。食に関する専門知識の授業



お店で自分達が選んだ食材を使った料理体験。企業の協力を得た食育の取り組みも広がっています

や特別活動の時間などに食についての指導を行ったり、地域で生産された食材をたくさん使った栄養バランスの取れた給食献立を作成したりするなど、学校における食についての教育や管理の中核的な役割を担っています。

今後県では、ボランティアの方々や企業、各種団体、市や町などの協力をいただきながら、県民の皆さんの心身の健康と豊かな人間形成を目指した食育の取り組みをすすめていきます。

## しっかり食べて元気なとちぎっ子

(とちぎの食育元気プラン-重点プロジェクト)

### 毎日きちんと朝ごはん

- 栄養バランスのとれた朝食をとりましょう
- 朝食の大切さを理解しましょう
- 早寝早起きをしましょう



こどもの料理コンクール・最優秀賞「満点朝食」/田中正彦君(佐野市)

### 野菜たっぷり 塩味ちよっぴり

- 野菜はたっぷりとりましょう
- 特に緑黄色野菜をすすんでとりましょう
- 小さい頃からうす味に親しみましょう



### みんなで楽しくいただきます!

- みんなで楽しく食卓を囲みましょう
- 食への感謝の心を育てましょう
- 正しい食事マナーを身につけましょう



### 牛乳ごくごく もう一杯!

- 牛乳は1日コップ2杯飲みましょう
- ヨーグルトなどの乳製品をとりましょう
- 牛乳・乳製品の良さを理解しましょう





# とちぎ未来クラブ 結婚と子育てを応援します！

女性が生涯に生む子どもの数(合計特殊出生率)は、全国平均で1.33(平成十八年)。栃木県でも1.40と低い状況にあり、少子化が急速にすすんでいます。そこで、家庭を築き、安心して子どもを生み育てることができるよう環境づくりをすすめるよう、県内各団体が参加して「とちぎ未来クラブ」が発足しました。

**結婚や子育てを  
みんなで応援**

結婚や子育てに関する意識について、昨年の県政世論調査では、左のとおりの結果となりました。この調査から、少子化や晩婚化、未婚化の原因についての考え方は、個人によってさまざまであることがわかります。しかし、「経済的な支援」や「男女の出会いや交流の機会をつくる」など、取り組むことができる課題も浮かび上がっています。

**「とちぎ笑顔  
つぎつぎカード」を配布**

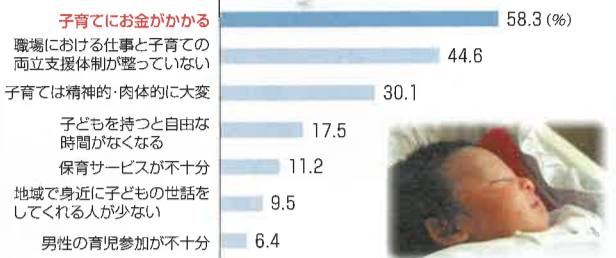
とちぎ未来クラブでは「とちぎ子育て家族応援事業」を開始します。十八歳未満の子どもや妊婦がいる家庭に「とちぎ笑顔つぎつぎカード」を配布。来年一月からこのカードを提示すると、企業や商店等の協賛店舗で割引や特典などの優待サービスを受けることができます。また、子どもが三人以上の家庭には、より多くのサービスが受けられます。



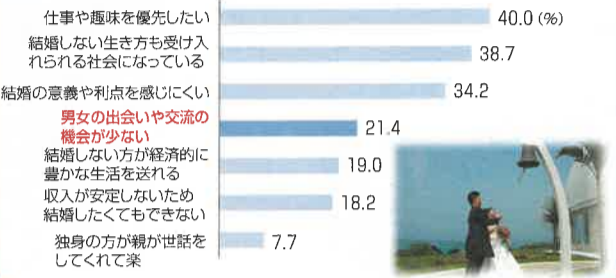
12月に学校や市町などで配布予定

## 県政世論調査の結果(平成18年)

### 問 出生率が低下している理由 (上位7位まで)



### 問 晩婚化や未婚化がすすんでいる理由 (上位7位まで)



## 地域ぐるみで子育てを応援

二宮町商工会では、40店舗で「二宮町そんとく倶楽部」というグループをつくり、ポイントカードを発行しています。今回、グループでとちぎ未来クラブの協賛店舗に加入し、店舗利用者にポイントをプラスするというサービスを行うことになりました。

「二宮町も少子化のため、来年から小学校が5つから3つになります。子育て家庭に協力し、少子化を少しでも食い止めたいという思いから全加盟店が揃って加入することにしました」と話すのは、そんとく倶楽部会長の片岡さん。また「小さいお店では、個々のサービスを提供するのは限界があります。グループだとみんなで協力できますし、インパクトもあるのではないのでしょうか。また、この機会にポイントカードのPRもできればいいですね」とその効果を期待しています。



(写真左から)商工会の安達さん、薄井さん、そんとく倶楽部の片岡さん、松枝さん



とちぎ笑顔つぎつぎカードと一緒に提示するとポイントをサービス

九月末現在、二百五十四店舗が登録。事務局では「同じような制度を始めた他県では、新たな顧客の開拓やお店のイメージアップとなっ



- サービスの例
- 店内全品10%引き
  - 子ども2名以上在籍で授業料の安い方を半額(学習塾)
  - ドリンク無料サービス
  - 入園料100円引き
  - ポイントを2倍進呈
  - 子ども1名に1名以上の住宅ローン金利優遇

## 現在、協賛店舗を募集中!

第1次募集の締切は10/31(水)です  
詳しいお問い合わせは  
とちぎ未来クラブ事務局  
とちぎ青少年子ども財団  
☎028-621-1611  
とちぎ未来クラブのホームページもご覧ください  
<http://www.tochigi-mirai.jp/>

## 地域の「おせっかい」 結婚サポーターが応援

とちぎ未来クラブでは、民生委員や児童委員などの方々から「地域結婚サポーター」を募集し、ボランティア活動をお願いしています。現在、二百四十九名のサポーターが、出会いの場のイベントのチラシを配ったり、結婚を望む方やその家族からの相談を受けたりしています。サポーターのひとりである矢口さんは「私たちはいわば、地域のおせっかいおじさん・おばさん。守秘義務をもつて活動していますので、どうぞ信頼して相談してください」と話します。



矢口ヨシエさん

また「結婚を望む若い方は、もつと積極的な手を挙げて欲しいです。少子化対策はなんといつても結婚する人を増やすこと。私たちサポーターが少しでもお手伝いできればうれしいですね」と意欲を話してくれました。



サポーターの研修会の様子。個人情報の取り扱いや他県の事例について学びました



## 「出会い応援団体」も頑張っています!

結婚を応援するボランティアグループ・レストラン・ホテル・団体などを「出会い応援団体」として登録し、イベント情報をとちぎ未来クラブのホームページでまとめ紹介しています。

応援団体の一つ、南那須結婚相談所連絡協議会を取りました。この会は、那須烏山市と那珂川町が共同で設置しているもの。昨年度は、会で任命する結婚相談員の紹介で六組が結婚。



事務局の佐藤さん(左)と橋山さん(右)

## 楽しみながら出会いの場を

とちぎ未来クラブでは、「結婚したいけれど出会いの機会が少ない」「素敵な出会いがあれば結婚したい」と結婚を願う方に対し、出会いの場イベントを開催しています。来年二月まで毎月一回、気軽に参加できる楽しいイベントを実施する予定です。



9月のイベントでは、焼き体験やディナーなどを楽しみながら男女39名が参加し、6組のカップルが誕生

## これから開催予定のイベント

- | 11月   | 12月   |
|---|---|
| <p>「世界遺産の日光で運命のひとみ〜つけたツアー」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11/18(日) ● 日光二荒山神社内でのトークタイムや散策、日光千姫物語でのランチタイムなどを楽しみながら素敵な出会いを...</li> <li>● 募集人数 男女各20名 ● 参加費 男女各3,000円 ● 募集締切 11/4(日)</li> <li>■ 栃木放送宮局 ☎028-622-1111</li> </ul> | <p>「クリスマス・カウントダウン withイルミネーション」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 12/15(土) 夜空に輝く星やまばゆいイルミネーションが最高の雰囲気を出す中で素敵な出会いを...</li> <li>● 場所 足利市周辺 ● 募集人数 男女各20名 ● 参加費 男女各3,000円 ● 募集締切 11/30(金)</li> <li>■ とちぎテレビ営業部 ☎028-623-0632</li> </ul> |



「みんなで協力して企画するのが楽しいですね。カップル成立にむけ頑張りたいです」と話す実行委員の皆さん。11/17(土)に横浜でのイベントを計画中です。女性は市外の方もOKなので、興味のある方は問い合わせを(☎0287-88-6223)



# 吹き竹



『百年後の“とちぎ”』提言募集(百年後に残したいもの、百年間で創り上げたいもの)が、明日で2カ月間の募集期間を終了する。はたして、どんなものが寄せられたのか楽しみにしている。

財政状況が極めて厳しい今日、ともすると対処療法的な施策に終始し、未来への投資を忘れがちになってしまう。

新県庁舎がいよいよ竣工への秒読みとなる中、百年建築である県庁舎の歴史とともに歩む事業が行えたら素晴らしいと思う。百年後に残せるものがあれば誇らしいと思う。

ところで、新庁舎は、概ね10～15年後の職員数を想定し、規模を縮小して建設したものである。12月14日(金)に落成式典及び内覧会、翌15日(土)から18日(火)までの4日間一般公開及び見学会を予定している。16日(日)には落成記念イベントも行うこととし準備を進めている。是非、多くの皆さんにお出で頂きたい。

栃木県知事 福田 富一



リンゴ園で大森さん夫妻(右)の説明を受けられる天皇皇后両陛下

九月十二日、十五日、天皇皇后両陛下は、ご静養のため那須御用邸に滞在されました。十二日には、那須町の農家、大森進さんの農園を訪ね、リンゴ園やサンショウ畑などをご視察されました。大森さん宅で懇談されました。リンゴ園では、大森さんから説明を受けられた後、リンゴの品種や収穫時期、台風九号の被害などについて熱心に質問されました。



「これからも元気でがんばってください」と福田知事

九月二十一日、福田知事は、今年四月に百歳を迎えた鹿沼市在住の木村ミツさん宅を訪ね、長寿をお祝いしました。知事がお祝いの言葉を述べると、木村さんは「どうもありがとうございます。みなさんのおかげです」と笑顔で答えていました。九月一日現在、県内で今年度中に百歳に到達される方は、二百七名いらっしゃいます。

Topics  
1 天皇皇后両陛下  
那須町の農家をご視察

Topics  
2 百歳になられた方を  
知事がお祝い

# 県政トピックス

県の出来事をご紹介します



### 地域の おたより

— 小山市 —  
面積 171.61km  
人口 161,832人  
(9月1日現在)

日光街道の宿場町、思川水運の河港として古くから栄えた小山市は、良質の水と米に恵まれていたこと、水運や街道の便が良かったことなどから酒造りが盛んになりました。小山市内には徳川家康が関ヶ原の戦いを決意したといわれる「小山評定」の跡があります。市内にある4つの蔵元では、この「小山評定」の名にちなんだ統一ブランドとして、純米吟醸酒を販売中。地酒を特産として守り広めていくため、こだわりの酒造りを続けています。

### 自然とふれあう

なす高原自然の家

- ◎那須七湯めぐり
  - 11/3(土)～4(日)1泊2日 ●那須の温泉に入りながら歴史を学ぼう ●対象 成人の方 ●参加費 県内在住8,800円 ●定員 先着20名
  - 同自然の家 ☎0287-76-6240
- ◎踏破だ! 太平洋
  - 11/17(土)～18(日)1泊2日 ●ハイキングや自然体験活動 ●対象 小学4年生～中学生 ●参加費 3,000円 ●定員 25名(抽選)
  - 同自然の家 ☎0282-24-8551

### 日光自然博物館

- ◎日光自然博物館休館のお知らせ
  - 展示更新の工事により12月は全館が休館、1月～2月中旬までは1階が開館し、2階展示コーナーが休館となります
- ◎戦場ヶ原「夕方」ガイドウォーク
  - 10/20(土)・27(土)午後3時～5時15分 ●夕暮れのひとときを戦場ヶ原のど真ん中で迎えてみませんか ●参加費 500円 ●定員 先着10名 ●当日、赤沼自然情報センター集合
- ◎マスの採卵体験～命が生まれる森をみよう～
  - 11/17(土)午前9時30分～午後3時 ●冬の始まる奥日光でマスの採卵を体験してみよう ●参加費 大人500円、子ども300円 ●定員 30名 ●申込締切 11/3(土)
  - 同館 ☎0288-55-0880

### 県民の森「森の集い」

- ◎つるを探してバスケット作り
  - 11/13(火)午前9時30分～午後3時 ●木に巻き付いたつるを切って、バスケットをつくろう ●参加無料 ●定員 先着30名
- ◎ミツモチの丘でコーヒータイム
  - 11/17(土)午前9時30分～正午 ●パームカーヘンづくりやコーヒータイムを楽しもう ●参加無料 ●定員 先着30名
- ◎つるを探してクリスマス・リース作り
  - 11/23(金)午前9時30分～午後3時 ●木に巻き付いたつるを切って、クリスマスリースをつくろう ●参加無料 ●定員 先着30名
  - 同管理事務所 ☎0287-43-0479

みんなの森づくり

- 11/17(土)午後1時～3時 ●県民の森(矢板市)「みんなの森」に広葉樹を植えよう ●参加無料 ●定員 先着50名
- 栃木県緑化推進委員会 ☎028-643-6801

### 文化情報

#### 子ども総合科学館

宇都宮市西川田町567 ☎028-659-5555  
●月・第4木曜日(祝日の場合は翌日)

- 児童館フェア「わいわい遊びの屋台村」
  - 10/20(土)・21(日) ●県内の児童館が大集合。いろいろな工作や楽しい遊びの屋台がたくさん並びます ●科学まつり ●11/3(土)・4(日) ●子どもたちが楽しく科学にふれあうイベントです。実験や工作コーナーなど、いろいろなブースがあります
- 第18回科学技術コンクール「ロボット・チャレンジ2007」
  - 11/10(土) 中学生部門予選 ●11/11(日) 高校・高専生部門、中学生部門決勝 ●県内の中学生や高校・高専生が、創意工夫を凝らした自作ロボットを操作して技を競い合います
  - ※開催時間や詳しい内容等については電話でお問い合わせを(☎028-659-5555)

### 文化情報

#### 県立美術館

宇都宮市桜4-2-7 ☎028-621-3566  
※ワークショップ・鑑賞/スツア-は電話で申し込みを

- ◎今月のアートリンクとちぎ2007 ●大田原市黒羽芭蕉の館、那須野が原博物館、鹿沼市立川上澄生美術館、さくら市ミュージアム-荒井寛方記念館-、益子陶芸美術館、とちぎ蔵の街美術館、佐野市立吉澤記念美術館、群馬県立館林美術館で当館の名品をご紹介します
- ◎今月のアトラウンジ「桜分館」 ●10/20(土)【講座】現代美術講座②「田中一村と写真」 ●11/3・10・17・24※いずれも土曜【講座】「アートとジェンダー」出光真子映像上映と講演①～④ ●11/11(日)【鑑賞バスツアー】<日本画の魅力-荒井寛方と石川寒巖> ●11/25(日)【ワークショップ】「手の不思議...手と腕のダンスをしよう」

### 文化情報

#### 県立博物館

宇都宮市睦町2-2 ☎028-634-1311  
●月曜日(祝日の場合は翌日)

- ◎企画展「とちぎ石ものがたり-人と石の文化史-」 ●好評開催中

企画展 入場券 プレゼント!  
ご意見募集欄をご覧ください

- ◎開館記念日行事「博物館へようこそ」
  - 11/3(土) ●楽しい体験ができます ●化石のレプリカを作ろう ●昔のおもちゃで遊ぼう ●クイズ ●さわってみようドキ土器体験等 ●展示解説「とちぎ石ものがたり」 「怖い?知りたい!毒キノコ」 ●参加無料 ●開催時間はお問い合わせください

### 文化情報

#### 県総合文化センター

宇都宮市本町1-8 ☎028-643-1013

- モンゴル国民芸術アンサンブル「エトゥゲン」コンサート ●10/23(火)午後7時開演 ●内容 馬頭琴・ホーミー・琴の演奏 ●自由席一般2,000円、学生1,500円 ●発売中
- 小劇場演劇シリーズ 「僕と彼と娘のいる場所」 ●12/5(水)午後6時30分開演 ●作・演出/鄭義信、出演/須藤理彩、石丸謙二郎、和田聡宏 ●指定3,000円 ●発売中
- レニングラード国立バレエ「白鳥の湖」 ●H20/1/19(土)午後5時開演 ●S席12,000円～D席4,000円(学生2,000円) ●発売中

### ご意見募集!

「とちぎ県民だより」へのご感想をお寄せください。ご意見をいただいた方の中から抽選で5名の方に県立博物館企画展入場券(ペア)を差し上げます。官製はがきに、住所氏名年齢ご意見を記入の上、次のあて先までお送りください。なお、今月号は10/31(水)締切(必着)とさせていただきます。

〒320-8501 県広報課  
「とちぎ県民だより」係

### information とちぎテレビ

## 県の広報番組

こちらとちぎ調査隊!

- 毎週土曜日 9:00～9:30
- (再)日曜日 20:00～20:30

10月20日 とちぎブランドの発信基地  
～畜産試験場・酪農試験場～

27日 君の生きるチカラになる～食育～

11月 3日 地域の安全と安心のために  
～消防団の活動～

10日 広がっています、地域でエコ。  
～エコ活動～

### クローズアップとちぎ

- 毎週日曜日 9:00～9:30
- (再)月曜日 22:00～22:30

10月14日 はくくむ はくくむ おすぶ-林道の整備～  
21日 田んぼまわりの再発見～農地・水・環境保全対策～  
28日 わがまち自慢～個性輝く地域づくり～

11月 4日 緑の下の力持ち～商工団体の中小企業支援～  
11日 高齢社会を支える基礎を学ぶ  
～介護研修センター～

### 県政ひとくちメモ

- 毎週木曜日 18:20頃

10月18日 鬼怒グリーンパークコスモまつり  
25日 県立博物館企画展

11月 1日 エコドライブ  
8日 糖尿病予防  
15日 農大祭

### わがまち「とちぎ」

- 毎月最終土曜日 20:30～20:45
- (再)日曜日 18:15～18:30

10月27日 みんなの思いを「あんどん」の灯火に  
～栃木市皆川地区のわがまち自慢～

### とちぎ教育新事情

- 毎週日曜日 10:10～10:30
- (再)月曜日 12:05～12:25

10月14日 県立学校紹介  
宇都宮東高等学校附属中学校

21日 とちぎの食育  
(学校編～学校を中心に食育を考えよう～)

28日 県立学校紹介 田沼高等学校

11月 4日 とちぎの民族芸能～大田原・城隍舞から～  
11日 県立学校紹介 大田原高等学校